

2002年度 環境への取り組みハイライト

丸の内再構築事業において 環境への取り組みを進めています。

2002年9月に開業した丸ビルをはじめ、各プロジェクトの解体から、企画、設計、施工、監理、運営にわたるまで、さまざまな環境への取り組みを進めています。
(4～11ページ参照)



「行動憲章」を グループで共有化しました。

「地球環境への配慮」を含む「行動憲章」を2002年8月にグループ会社で共有化しました。
(14、17ページ参照)

環境会計の対象範囲を拡大しました。

2002年度の環境会計は三菱地所(株)ビル事業本部のビル管理運営部署に加えて、(株)三菱地所設計及び三菱地所ホーム(株)も集計対象としました。
(20～21ページ参照)

土壌汚染調査・対策処理のプログラムを 決めました。

三菱地所(株)住宅開発事業本部では、2002年6月より、用地取得の際に事前の土壌汚染調査及び対策処理をプログラム化し、実効性のある取り組みを行っています。
(28ページ参照)

三菱地所(株)住宅開発事業本部が ISO14001の認証を取得しました。

三菱地所(株)住宅開発事業本部は2002年11月27日にISO14001の認証を取得し、首都圏のマンション分譲事業を対象に環境への取り組みを進めています。
(16、26～28ページ参照)



三菱地所コミュニティーサービス(株)が ISO14001の認証を取得しました。

マンション管理業務を行う三菱地所コミュニティーサービス(株)は2003年2月5日にISO14001の認証を取得し、首都圏のマンション管理事業を対象に環境への取り組みを進めています。
(16、29ページ参照)



ダウ・ジョーンズ社のサステナビリティ・ インデックスに3年連続で選定されました。

米国ダウ・ジョーンズ社は世界26カ国2,500社の優良企業から持続的成長が見込まれる企業を選定し、インデックスとして公表しています。三菱地所(株)は2000年から3年連続でこのインデックスに選定されました。
(47ページ参照)

2003年度以降の取り組み予定

環境憲章をグループとして 共有化します。(14ページ参照)

環境会計の対象範囲を拡大し、 内容の充実をはかります。

(20～21ページ参照)

グループ内で環境マネジメントシステムの 導入を拡大していきます。

ビル事業本部ビル開発部署にISO14001の認証範囲を拡大します。(16、22ページ参照)

住宅開発事業本部にてISO14001の認証部署の拡大を検討します。(16、27ページ参照)

ホテル事業の一部にてISO14001の認証を取得します。(16、38ページ参照)

他の事業領域においてもISO14001の認証を取得する組織とISOに準じた環境マネジメントシステムの運用を行う組織との方向性を考慮しながら拡大展開をはかっていきます。(16ページ参照)

この報告書は三菱地所グループを対象としており、ISO14001の認証を取得している三菱地所株式会社のビル事業本部ビル管理運営部署、住宅開発事業本部、三菱地所コミュニティーサービス株式会社、株式会社三菱地所設計、三菱地所ホーム株式会社の5組織を中心に(22～37ページ)その他の部署・グループ会社の活動についても記載しています。

三菱地所コミュニティーサービス株式会社、株式会社三菱地所設計、三菱地所ホーム株式会社は、何れも三菱地所株式会社が100%出資(間接出資を含む)する連結子会社です。なお、三菱地所コミュニティーサービス株式会社は、2003年4月1日に株式会社ダイヤコミュニティーから商号を変更しています。

対象とする読者は、三菱地所グループの進める「まちづくり」に関わるお客さま、株主、投資家、従業員、取引先、地域社会、NPO・NGOなど幅広いステークホルダーの方々を想定しています。

報告する活動内容は、「企業の社会的責任」(CSR; Corporate Social Responsibility)の見地から、環境活動を主に、社会活動(「社会環境コミュニケーション」39～47ページ)及び経済活動(「事業概要」48～49ページ)についても記載範囲としています。

報告書作成にあたっては、環境省「環境報告書ガイドライン(2000年度版)」、「GRI(Global Reporting Initiative)ガイドライン」を参考としました。

報告期間は2002年度(2002年4月1日～2003年3月31日)を対象としていますが、注記を行った上で一部当該年度以外の内容も記載しています。報告書の信頼性と透明性を担保するため、第三者機関による審査を実施しました。(53ページ)

本報告書の内容はWeb上でも掲載しています。

(<http://csr.mec.co.jp/eco.html>)

環境保全活動を更に実効的なものとし、情報開示の質を高めるためには、読者の方とのコミュニケーションが重要と考えています。添付のアンケートに是非ご意見・ご感想をお寄せください。

今回報告書の特徴

2002年11月、2003年2月にそれぞれISO14001の認証を取得した三菱地所株式会社住宅開発事業本部、三菱地所コミュニティーサービス株式会社を、主たる記載対象に加えしました。(18～19、26～29ページ)

2002年8月に竣工した「丸ビル」をはじめとする「丸の内再構築事業」における環境への取り組みを巻頭特集として記載しました。(4～11ページ)

環境経営組織を主要な事業領域のグループ会社を含めた体制に改組したことについて記載しました。(15ページ)

コンプライアンス体制の再構築とグループ展開、情報管理コンプライアンスについて記載しました。(17ページ)

環境会計については前回発行の報告書において、三菱地所株式会社のビル事業本部ビル管理運営部署を対象に、ISO14001の目的・目標に対応する形式で再構築しましたが、集計範囲に株式会社三菱地所設計、三菱地所ホーム株式会社を加えて拡大しました。(20～21ページ)

今回の報告書は、2000年12月、2001年9月、2002年9月に続く4回目の発行となります。

次回報告書の発行予定

次回報告書は2004年9月の発行を予定しています。今後、「企業の社会的責任」の見地から「持続可能性報告書」等への方向性も含めて編集方針を検討していきます。

作成部署・連絡先

三菱地所株式会社 企画管理本部 社会環境推進室
〒100-8133 東京都千代田区大手町一丁目6番1号 大手町ビル
TEL 03-3287-5780
FAX 03-3212-2362

トップメッセージ..... 2
私たちはグループ全体の価値を持続的に創造し、環境を経営の重要な柱として取り組みます。

特集
丸の内再構築事業における環境への取り組み
環境共生都市「丸の内」をめざして..... 4

トピックス
三菱地所グループにおける環境負荷低減に向けた取り組み
三菱地所の省エネ・節電対応.....12
グリーン電力証書システム.....12
TOKYO TWIN PARKSにおける雨水再利用.....12
(仮称)二番町プロジェクト.....13
イムズ「百草木の径」.....13
「丸の内R&Aサービス」.....13

環境経営
三菱地所グループの経営方針.....14
環境経営に対する基本姿勢.....14
環境経営推進体制.....15
三菱地所グループのめざす環境共生型の街づくり.....15
環境マネジメントシステム構築への取り組み.....16
三菱地所グループのコンプライアンスとリスクマネジメント/環境事故.....17
2002年度環境目標と取り組み実績.....18
2002年度環境会計.....20

事業別取り組み実績
ビル事業.....22
住宅開発事業.....26
設計監理事業.....30
注文住宅事業.....34
ホテル事業.....38

社会環境コミュニケーション
三菱地所グループは、幅広いステークホルダーと良好な関係を築いていきます。.....39
顧客/株主とのコミュニケーション.....40
従業員とのコミュニケーション.....41
取引先とのコミュニケーション.....42
地域社会とのコミュニケーション.....43
NPO・NGOとのコミュニケーション.....45
行政機関・業界団体とのコミュニケーション.....46

事業概要
三菱地所グループの財務データ(2002年度の業績).....48
報告書対象会社の概要.....49
三菱地所グループの事業概要と今後の展開.....50

これまでの環境活動の歩み.....52

環境報告書に対する第三者意見書.....53